

# 学校だより

12月号

令和元年の人権週間 十二月四日から十二月十日

校長 吉野 達雄

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和元年十一月三十日



国際連合は、一九四八年十二月十日に世界人権宣言を採択し、その十二月十日を「人権デー」と定めました。また、我が国においては、法務省と全国人権擁護委員連合会が「人権週間」を定め、世界人権宣言の趣旨及びその重要性和人権尊重思想の普及高揚に努めてきました。

## 【私たち大人の「人権感覚」】

人権とは、「人が生まれながらに持っている人間としての権利」で、人間が「かけがえのない個人として尊重され、平等にあつかわれ、自らの意思に従って自由に生きる」ために必要不可欠な権利です。

学校では、このことを子供たちが理解し、実践できるように人権教育を推進しています。私たち大人も人権感覚をしっかりと持たないといけません。振り返ってみましょう。

- ・ 国籍や職業、学歴、障害などで人を判断していないか。
  - ・ 人格を傷つける言葉を発していないか。
  - ・ しつけ・教育の名のもとに体罰を行っていないか。
  - ・ ラインやメールで人の批判や悪口を言っていないか。
- 【オリンピック・パラリンピックと人権】

東京2020オリンピック・パラリンピックの大会ビジョンの一つに「多様性と調和」があります。その中に「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的及びその他の考え方、国籍、資産、家系、障害の有無などあらゆる面で異なる人類は、これらの違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うこと」で、平和を維持し、更なる発展を遂げる。」とあります。

来年に迫ったオリンピック・パラリンピックに向けて、この人権週間に家庭でも人権について考えてみてください。

## 【一学期二学期を振り返って】

今年度は、いじめ問題への対応、あいさつ運動や生活指導の徹底、食育をはじめとした健康教育、プログラミング教育などに重点を置いています。また、教育活動の様子を学校公開・ホームページ・各便りで発信しています。子供たちは確実に成長しています。引き続き、取組の充実を図ってまいります。

## 白金クラブ

代表 松岡 みゆき

三年生から六年生を対象にした、楽しく体を動かす陸上クラブです。約六十人の児童が国際陸連、日本陸連の指導資格を持つコーチの指導を受けながら、放課後の時間を使って活動しています。「走る、跳ぶ、投げる」基本的な運動を通して総合的な体力向上を目指しています。練習の最後にはリレーやドッジボールなどの時間もあり、生き生きと運動します。

また、休日に開催される陸上競技会にも参加しています。今年度は八回の大会に出場し、延べ二十六名が入賞、東京都の強化選手にも三人が選ばれています。

これまで陸上の経験がなくても、運動が苦手な子どもでも、楽しく参加出来る内容となっておりますので、ぜひお気軽に見学・体験にいらしてみてください。

## 白金ドリームス

代表 山添 有紀子

三年生から六年生の三十五名で活動をしているミニバスケットボールチームです。二名の外部コーチにご指導いただき、火曜日・木曜日の朝七時三十分から八時十五分、月数回の土曜日に白金小学校体育館で練習をしています。

大好きなバスケットを通じて基礎体力と技術の向上、目標に向かって努力することやチームワークを学びます。二月と七月に開催される港区小学生バスケットボール大会に参加しており、他チームとの練習試合も行っています。

見学・体験を随時受け付けております。新しい仲間をお待ちしております。

## プラチナタイムについて

特別活動部 高橋 宏佳

プラチナタイムでは、一年生から六年生までの縦割り班を構成し、月一、二回、昼休みに「交流遊び」や、年間二回の「交流給食」を行っています。

今年度は、昨年度に引き続き、七月十八日に縦割り班で「校内オリエンテリング」を行いました。それぞれの班でゲームのクリアを目指して、校舎中を班で協力して回りました。ゲームはとても楽しく、どの班も盛り上がりつつありました。

「交流遊び」では、各月の遊びの計画から当日の運営まで、全て六年生が行い、全員が楽しめるような遊びを毎回工夫して考えています。上級生は下級生にルールを教えたり声をかけたたり、下級生もみんなが楽しく遊べるように上級生に協力したりといった姿が見られます。

「交流給食」では、班で協力して配膳し、食事とともにすることで、より深く親しく交流できるようにします。お世話になった六年生と思いで出をつくる「お別れ給食」では、来年度の準備として五年生が中心となって計画・運営をします。

同じ学年の友達との関わりだけでなく、異学年集団で協力しながら活動を楽しみ、交流を深めることを通して、尊敬、感謝、思いやりの心の育成を目指します。今後も異学年で交流する機会を充実させていきたいと考えています。

